

よこはま夢ファンド団体登録及び助成金交付審査結果について

1 平成29年度第1回よこはま夢ファンド登録団体申請について【審査】

よこはま夢ファンド団体登録要綱の申請要件に照らし、3団体について、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※資料4-2のとおり

2 平成29年度第1回よこはま夢ファンド登録団体助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

登録団体が行う市民公益活動に係る事業の経費について助成を行います。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※資料4-3のとおり

(3) 申請状況 19事業 24,370,988円

(4) 審査結果 19事業 23,331,456円

3 平成29年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金申請について【審査】

(1) 助成内容

登録団体が行う組織基盤強化に係る取組の経費について助成を行います。なお、費用の助成に加え、団体内で振り返りを行う際の「ファシリテーターの派遣」、「助成団体同士の情報交換」を実施します。

(2) 審査

登録団体からの助成金交付申請内容について審査基準に基づき、市民活動運営支援事業部会が審査を行いました。※資料4-4のとおり

(3) 申請状況 8団体 30万円×8団体=240万円

(4) 審査結果 8団体 30万円×8団体=240万円

4 平成28年度第4回横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会

(1) 開催日時 平成29年2月6日(月) 9時30分～14時50分

(2) 市民活動運営支援事業部会名簿(部会長を除き五十音順) 出席委員4名

	氏名	所属等
部会長	名和田 是彦	法政大学 法学部 教授
専門委員	井川 文作	横浜信用金庫 業務推進部
専門委員	清水 靖枝	長屋門公園歴史体験ゾーン 事務局長
推進委員	時任 和子	特定非営利活動法人 夢・コミュニティ・ネットワーク 理事長
推進委員	松村 正治	恵泉女学園大学 人間社会学部 准教授 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所 NORA 理事長

1 平成29年度第1回よこはま夢ファンド登録団体申請

	団体名	主な分野	結果
1	フォーラム・アソシエ	保健・福祉・子ども、文化・スポーツ	登録
2	笑顔	保健・福祉・子ども、まちづくり・環境、文化・スポーツ、経済・観光振興	登録
3	磯子区視覚障害者福祉協会	保健・福祉・子ども、まちづくり・環境、文化・スポーツ、国際・人権・平和	登録

2 平成29年度第1回よこはま夢ファンド登録団体助成金申請

	団体名	団体概要等	事業内容等	申請金額	団体助成基準額	団体あて希望寄附金額	交付金額	合計点
1	横浜こどものひろば	子どものためのすぐれた芸術・文化活動の振興を行い、地域において子どもたちの成長を図り、かつ子ども自身の社会参加の場として、子どもの文化的権利が保障される豊かな子ども時代の創造に寄与することを目的とする団体。	<p>【人間に出会う舞台芸術体験】</p> <p>子どもたちが前向きな力を発揮して大きくなっていくよう、芸術文化を通じて直接、感性、感覚に働きかける舞台芸術体験事業を実施。九州在住の劇団を招き、近隣の12団体(おやこ劇場やこども劇場など)と舞台劇の上演に取り組む。</p> <p>・日程:5月(3回の公演) ・会場:岩間市民プラザホール(保土ヶ谷区)</p>	450,000円	450,000円	720,000円	450,000円	155.00
2	Yokohamaこども応援団	子育て中の男女に対して、保育および子育て支援に関する事業を行い、男女共同参画社会の形成の促進を図ること、また、子どもの健全育成を図る活動に寄与することを目的とする団体。	<p>【ワークライフバランス(子育て支援)事業①パパ&ママと赤ちゃんふれあい遊び、②お父さんと遊ぼう】</p> <p>①パパ&ママと赤ちゃんふれあい遊びでは、参加対象を0歳児とその父親母親15組とし、講師の指導でベビーマッサージやふれあい遊びを父親母親共に実践し乳幼児との接し方を学ぶ。</p> <p>・日程:6月予定 ・会場:男女共同参画センター横浜南</p> <p>②お父さんと遊ぼうでは、2~3歳児とその父親20組を対象に実施。身近なものを使った遊びの体験やおもちゃの手作りなどを実施。</p> <p>・日程:10月予定 ・会場:男女共同参画センター横浜</p> <p>※初回申請</p>	58,560円	58,560円 (寄附金額(0円) + 初回申請基準額(70,000円)) ※申請金額が7万円未満のため、申請金額を基準額とする	0円	58,560円	153.75
3	アース・エコ	持続可能な社会実現のために、地域の環境保全及び環境教育・環境学習を推進することを目的とする団体。	<p>【親子で実践する地球温暖化対策事業】</p> <p>小学生を中心とする子供や市民に対して、気候変動の現状と緩和策・適応策に対する理解を深め、省エネ実践を促す啓発活動を行う。事業内容は、①親子工作教室と②環境イベント。</p> <p>①親子工作教室では、小学生とその保護者を対象に実施。</p> <p>・日程:8月~3月 ・会場:市内地区センター3か所予定</p> <p>②環境イベントでは、保護者や市民に対するパネル展示や資料配布により、気候変動の現状と緩和策・適応策・省エネ実践への理解を訴える啓発活動を実施。横浜市内で開催される「かながわエコ10フェスタ」「カーフリーデー」等のイベントに3回程度出展する予定。時期は準備期間も含めて、5月から11月までを予定。</p>	120,000円	120,000円	145,000円	120,000円	147.50
4	エスペラントよこはま	市民に対して、エスペラントの普及に関する事業を行い、共通語エスペラントによる相互理解に基づく世界平和に寄与することを目的とする団体。	<p>【国際交流写真・各国現地語教科書展】</p> <p>国際共通語の必要性への理解促進、国際共通語エスペラントの存在と現状を一般市民に理解してもらうため、写真・パネル・書籍の展示、各地の言語の教科書を展示。</p> <p>・日程:9月11日~13日 ・会場:神奈川県民センター</p> <p>※初回申請</p>	70,000円	70,000円 (寄附金額(0円) + 初回申請基準額(70,000円))	0円	70,000円	130.00

	団体名	団体概要等	事業内容等	申請金額	団体助成基準額	団体あて希望寄附金額	交付金額	合計点
5	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域における人的ネットワークの絆を生かして、主として不特定多数の市民を対象に、地域福祉や街おこし等に関する事業を行い、新しい地域コミュニティの創造と地域交流を通して、公益の増進に寄与することを目的とする団体。	<p>【地域団体・企業・市民の連携による地域交流会開催事業】</p> <p>地域団体や民間企業、市民などの連携による地域交流会の開催を通して、障害者自立支援事業を支援するためのプレゼンテーション及びPRを実施し、団体への寄附金の増大や地域ネットワークの拡大を目指す。</p> <p>各種団体と連携し、等身大肖像画のアート展など、障がい者自立支援事業を支援するための財政基盤の強化とあわせて、障害者支援の輪を広げる。</p> <p>・日程:11月 ・会場:横浜インターコンチネンタルホテル ホール(予定)</p>	300,000円	300,000円	303,000円	300,000円	135.00
6	◎ 沙羅の会カウンセリングハウス	精神衛生(メンタルヘルス)の問題をかかえた方をはじめ一般市民、学校および事業者に対して、精神衛生(メンタルヘルス)に関する事業等を行い、保健、医療又は福祉の増進に寄与することを目的とする団体。	<p>【カウンセリング事業】</p> <p>カウンセリングルームを運営し、比較的低料金で、専門性の高い臨床心理士の資格を持つカウンセラーがカウンセリングを実施。</p> <p>なお、これまでの活動拠点が手狭になってきたため、今年の春ごろに長津田駅近くに事務所兼カウンセリングルームの移転を予定。</p>	1,400,000円	1,241,000円	1,241,000円	1,400,000円	181.25
7	みどりITコミュニティサポーターズ	緑区民を中心とする横浜市民に対して、情報化社会の発展に関する事業や社会教育の推進に関する事業、まちづくりの推進に関する事業を行い、横浜市緑区等のIT発展、IT普及、地域コミュニティの創造などに寄与することを目的とする団体。	<p>【市民IT普及事業推進のためのパソコン購入】</p> <p>緑区役所と連携し、緑区内の地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなどで、ワード・エクセル・パワーポイント・ホームページなどの講習会を開催しているが、パソコンのバージョンが古くなっているため、ウィンドウズ10やオフィス2016搭載のパソコンを購入。</p> <p>※初回申請</p>	210,000円	210,000円 (寄附金額(140,000円) + 初回申請基準額(70,000円))	140,000円	210,000円	133.75
8	ふらっとステーション・ドリーム	近隣住民に対して、必要とされる支えあい支援に関する事業を住民が主体となって行い、様々な関係者と共に、誰もが尊厳を持って生き生きと心豊かに暮らしていくことができる地域づくりを図り、もって公共の福祉に寄与することを目的とする団体。	<p>【ふらっとステーション 賑わい広場(コーナー)開設事業】</p> <p>年齢や障害に関係なく、誰でも出店ができるコーナーを「ふらっとステーション」の屋内と軒先に開設し、コーナー利用料は低額に設定し、手作りの作品や不要になった日用品、障害者の方が専門工場で製造したパン類の販売、家庭菜園などで栽培した野菜等の販売を通じて、地域の活性化と住民の交流を図る。</p>	50,000円	50,000円	50,000円	50,000円	150.00
9	☆ こんにちは・国際交流の会	地域で身近に接する人々に対して、国際交流活動、国際理解活動、国際協力活動並びにこれらに関する学習活動などの事業を行い、日本人、外国人の交流を進め、相互の理解と協力関係の向上に寄与することを目的とする団体。	<p>【国際交流事業～「バス研修旅行」～】</p> <p>外国籍の方々のための「日本語教育事業」をはじめ、国際交流事業や国際理解事業などを実施しているが、日本語教室学習者を対象に、バス研修旅行を通して、日本の文化・風習に触れる場と、国籍を超えた国際交流の場を提供する。</p> <p>・日程:10月予定</p>	200,000円	200,000円	935,000円	200,000円	161.25

	団体名	団体概要等	事業内容等	申請金額	団体助成 基準額	団体あて 希望寄附 金額	交付金額	合計点
10	ルンビニー・わらべ園	幼児の教育を通してシュタイナー理念を実践することにより、子どもの健全育成及び社会教育の推進を図り、あわせて地域福祉の増進を図ることを目的とする団体。	【講演会・ワークショップ運営事業】 当法人の中心的活動である認可外保育事業所「ルンビニー・わらべ園」で、会員や地域の方々を対象とした講演会・勉強会・演奏会やワークショップなど、シュタイナー理論に触れる機会を提供し、家庭でも効果的に実践できるよう発信していく事業。講演会は10月と2月の2回開催予定で、ワークショップは8月の神奈川子育てフェスタ、9月の金沢芸術祭等で実施予定。	420,000円	420,000円	492,000円	420,000円	140.00
11			【保育環境整備事業】 認可外保育事業所「ルンビニー・わらべ園」の拠点である園舎や園庭や周辺清掃や遊具の整備・制作などの保育整備事業により保育活動の維持発展に取り組む。本事業では、当施設を安全安心に活用してもらうため、定常的な保守管理や、老朽化した箇所の修繕等を実施。また、清掃や保守作業に必要な備品や消耗品等の整備補充も行う。園舎・園庭の整備作業や遊具づくりは、7月、10月、2月に実施予定。	72,000円	72,000円		72,000円	136.25
12	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	国際シュタイナー幼稚園連盟と連携し、ルドルフ・シュタイナーの理念に基づいて、本法人に属する横浜シュタイナーこどもの園の運営を行い維持発展に努めると共に、シュタイナー教育の実践及び普及活動を通して、こどもの健全育成及び社会教育の推進に寄与することを目的とする団体。	【子育て支援事業(クラス開催、交流会開催、冊子発行)】 親子クラスは0歳から2歳の子どもと保護者が、ふれあい、思いを分かち合い、子育てを学ぶ。年間を通じて週1回実施。 交流会は、ドイツから伝わった伝統のおもちゃづくりのノウハウを一般参加者に公開し交流を図る。 冊子発行は、専門家・教師による教育にまつわるエッセイなどを、季刊発行する。年3回、各200部で計600部発行	500,000円	360,468円	360,468円	360,468円	141.25
13	◎ スローレーベル	アーティストと障害者の協働により、商品開発、創造産業の支援を行い、市民の生きがいづくりに寄与することを目的とする団体。	【ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017での福祉活動PR・市民参画事業】 障害者と、多様な分野のプロフェッショナルの協働による現代アートの国際芸術祭の開催を通じて、障害のある方とない方が出会い、協働する機会を創出するため、ヨコハマ・パラトリエンナーレ2017に関わる市民参画事業および福祉活動PRを実施。 ・日程:10月 ・会場:象の鼻パーク、象の鼻テラス	4,000,000円	3,020,000円	3,020,000円	3,100,000円	163.75

	団体名	団体概要等	事業内容等	申請金額	団体助成基準額	団体あて希望寄附金額	交付金額	合計点
14	ミニシティ・プラス	こどもや青少年が創造性や自主性を発揮しながら創るまちづくりの体験事業を通して、次世代の地域まちづくりを担う人材を育成していくとともに、広く市民へまちづくりの意義についてプロモーションを図ることにより、暮らしやすい持続可能な地域まちづくりを推進することを目的とする団体。	【特命子ども地域アクタープロジェクト】 公募で集まった神奈川県内の青少年からなる「特命子ども地域アクター」を後継者問題やマンネリ化等の課題を抱える地域まちづくりの現場に派遣し、青少年が地域と深く関わり、青少年の力がまちづくりに活かされ、青少年が社会参画できる仕組みづくりを目指す。 4月～6月 まちづくり団体や特命子ども地域アクターを公募 6月～7月 お見合い会を開催 7月～12月 企画提案や実際の活動 1月 成果発表会を開催。	321,000円	321,000円	3,987,000円	321,000円	153.75
15			【こどもが創るまち「ミニヨコハマシティ」】 子どもたちが自分たちの理想のまちをつくるためのアイデアを出し合う事前会議を重ね、実際に数日間の「ミニヨコ」という仮想のミニシティをつくり運営する。まちを運営することにより、社会体験、職業体験、選挙体験など、子どもの社会性や自主性を高めることを期待する。 4月から12月まで毎月子ども会議を開催し、3月にヨコハマミニシティを開催する。	818,000円	818,000円		818,000円	156.25
16			【第一回 U-19こどものまち全国サミットin横浜】 全国的に広がってきた「こどものまち」(現在約80)の中の、こどもリーダー有志を横浜に集め、こどものまちがもたらす社会的意義について話し合い、多くの方々にこどものまちの効果を知ってもらうために横浜でサミットを開催する。 ・日程:5月3日～4日 ・会場:横浜市立大学金沢八景キャンパス(全国サミット)、野島青少年センター(交流会)	524,700円	524,700円		524,700円	153.75
17	横浜シュタイナー学園	幼児から青年期に至る子どもたちを対象とする、ルドルフ・シュタイナーの教育理念に基づく学園を運営し、さらにルドルフ・シュタイナーの哲学および教育理念に基づいた諸事業を行うことで、社会と地域に対し子どもたちの健全育成をもって寄与することを目的とする団体。	【横浜シュタイナー学園の運営事業】 当学園は、2016年度末に4期生を含む延べ40名の卒業生を送り出し、現在は、児童生徒104名、教員31名でシュタイナー教育を実践している。 新たな取組として、地域との交流を深めるための「地域マルシェ」を実施予定。 一般の方向けの公開講座や地域の団体と連携したカリキュラム等も実施している。	9,706,728円	9,706,728円	10,657,275円	9,706,728円	140.00
18	はぐくみ心理相談所	カウンセリングに関する高度な技術と経験をもって、不特定多数の市民・団体に対して心理相談、カウンセリングならびにカウンセリング技法の教育普及活動を行い、市民の精神面における健康の増進を図ることを目的とする団体。	【一般個人向けカウンセリング啓発のための広報活動】 一般個人向けのカウンセリングが年2000件を超える中、助成金を活用し当団体の活動内容をより一層広く周知するためリーフレット製作、分かりやすく、申込や問合せが容易なホームページの改善を実施。 リーフレットは4月に完成させ年間を通じて配布。 ※初回申請	350,000円	350,000円 (寄附金額(280,000円) + 初回申請基準額(70,000円))	280,000円	350,000円	153.75

	団体名	団体概要等	事業内容等	申請金額	団体助成基準額	団体あて希望寄附金額	交付金額	合計点
19	☆ スマイルオブキッズ	闘病中の子どもたちの基本的な権利が尊重され、最善の医療を受け日々の生活の質を向上させることができるよう、本人および家族に精神的、物質的支援をする事業並びに小児医療に関わる法人、団体への支援事業を行うとともに闘病中の子どもたちの現状を広く社会に伝え、志のあるボランティアを育成することによって、広く社会全体の子育て環境の改善に寄与することを目的とする団体。	【滞在施設運営事業】 県立こども医療センターに遠方から来院する子どもに付き添う家族のための滞在施設を運営。 患者家族の安価で快適な宿泊と、患者の子どもたちの看病に専念でき、親御さんが安心して利用し精神的な安定が得られるよう取り組む。	4,800,000円	4,800,000円	4,850,137円	4,800,000円	167.50
				24,370,988円	23,092,456円	27,180,880円	23,331,456円	

●基準点数について

※5人の審査員による各団体の合計点が、
 160点～200点の場合 → 基準額よりも増額（ただし、助成申請金額を上限とする）
 121点～159点の場合 → 基準額どおり
 0点～120点の場合 → 基準額よりも減額

●欠席した委員がいる場合等の合計点の算出方法について

欠席した委員もしくは団体関係者等の理由により審査に加わらない委員がいる場合は、審査に加わった委員の平均点を算出したうえ、その平均点を5倍にして合計点を算出しています。

注）交付金額の部分で、◎は増額交付、☆は160点以上で増額の対象ですが、団体助成基準額と申請額が同額のため団体助成基準額どおりに交付します。

3 平成29年度よこはま夢ファンド組織基盤強化助成金申請

	団体名	団体概要等	取組名・取組内容等	審査の際のコメント	申請金額	交付金額	点数 (基準点:90)
1	海の森・山の森事務局	幼児または小学校低学年から高齢者までのより多くの人たちに対して、自然環境に関する映像上映と音楽演奏とを中心としたビジュアルコンサート開催に関する事業等をはじめとする自然環境保護についての普及啓発事業を行い、青少年の健全育成、自然環境の保全、芸術振興に寄与することを目的としている団体。	【ICT導入でNPO内情報の共有と広報発信強化】 現在、理事長一人に団体の情報資源が集中してしまっていることが課題。スタッフが情報を必要としている時には、その都度、理事長経由で情報を受け取る流れになっているため、作業に停滞が見られている。 これらの課題を解決するため、主に次の取組を行う。 ・グループウェア管理、WEB制作、および「大岡川ニュース」編集に使用するPCと、そのPC専用のアプリケーションを導入する。 ・団体に専従の事務局長を配備し、これまで理事長が行っていた実務処理を事務局長が担当する。また、ホームページを改善すると共に、事務局長が団体スタッフに対して、ICT講習会を実施して、スタッフのICTスキルを向上させる。	「会員が32人から124人に急増していて、組織基盤強化は急務と考える。」 「団体において、現状の課題分析はできていると思うが、その課題に向けてのアプローチがPC等の購入という結論になってしまっている。事務局長の雇用やPC等の購入を切り口として、より効果的に組織の基盤を強化することを考えた方が良い。」	300,000円	300,000円	112.50
2	スローレーベル	アーティストと障がい者の協働により、商品開発、創造産業の支援を行い、市民の生きがいづくりに寄与することを目的としている団体。	【寄付・会員制度の強化および円滑な会計業務基盤の整備】 団体の設立以来、毎年、予算規模・事業規模を拡大してきたが、財源バランスや会計処理などの面では、急速に拡大している団体規模に対応できる仕組みを整えられていない。 財源の多くを補助金・助成金・委託事業に頼っているため、活動の長期的継続性が約束されず、また、支出の用途が制限されるため組織運営や管理のための資金を確保できずにいる。 これらの課題を解決するため、主に次の取組を行う。 ・寄付・会員制度の強化 専門家のアドバイスをもらいながら、現在の寄付・会員制度を見直し、寄付者や会員を積極的に集める。 ・会計システムの構築・強化 会計作業について、クラウドソフト等を取り入れたり、専門家のアドバイスをもらいながら、予算執行のプロセスを統一する仕組みをつくり、円滑かつ正確に会計処理ができるフローを構築する。	「申請書類では、組織体制について組織図のみの記載であるため分かりづらいが、団体の急拡大に伴い生じている事務体制強化(特に会計業務の強化)の必要性、財源の多様化を目指したファンドレイジングの必要性が十分に伺われ、これを中心に組織基盤強化に取り組むことによって、本団体の斬新なミッションが推進されるものと思われる。」	300,000円	300,000円	110.00
3	ダイヤモンド・フォー・ピース	ダイヤモンド採掘から輸出に携わる零細労働者に対し、彼らの労働環境改善・社会的地位の向上を図るための事業を行い、一般消費者やダイヤモンド業界に対し、ダイヤモンド業界における取引が道徳的で公平なものになるように啓発する事業を行い、ダイヤモンドが人道・環境配慮の上、採掘・カット・製造されることが当たり前の社会の創造に寄与することを目的とし、また、活動対象国において甚大な疾病や災害等が発生した場合は緊急支援活動を実施し、上記の労働者の生命・生活を保護することに寄与することを目的としている団体。	【事業拡大に向けた資金調達のための運営面および広報面の基盤強化】 「ダイヤモンド産出国での採掘労働者自立支援活動」、「ダイヤモンドに関する課題の啓発活動」を、より広めるために、団体の資金調達が急務である。 この課題を解決するため、主に次の取組を行う。 ・今後の事業計画・資金調達計画策定 外部の専門家、支援者の協力を得て、事業計画策定および資金調達方法を検討するワークショップを開催する。 ・支援者増員に向けた広報強化 支援者の増加をめざし、Facebook広告を打つ。広告は複数種類用意し、反応が最も良かった広告を継続的に利用する。 ・団体のガバナンス、経理面の基盤強化 外部の団体の協力を得て、団体のガバナンスに関わる規則・催促の確認・改善および、経理面の強化を実施する。また、認定NPO法人申請を視野に入れたガバナンス、経理体制強化のために、継続的な情報収集等を行い、業務のマニュアル化・確認体制構築による業務オペレーションを確立する。	「専門家の協力を得ながら取組を行うということだが、自分達自身の取組への関わりがよく分からない。申請書では取組の主な対象者が、理事3名としているが、団体のスタッフやボランティアも含めて、組織として取組を進めてほしい。」	300,000円	300,000円	97.50

	団体名	団体概要等	取組名・取組内容等	審査の際のコメント	申請金額	交付金額	点数 (基準点:90)
4	フーズマイルぐら	未来を担う子ども及び現代社会に生きる大人、高齢者に対して、食を通して幅広い知識及び知恵を普及することを目指し、ライフステージに合わせた学びの場を提供する事業を行い、健全な社会作りに貢献し、公益に寄与することを目的としている団体。	<p>【認知度向上を目指した広報物の制作】</p> <p>団体を設立して5年目を迎え、活動の幅が広がってきたが、外部の人にとっては、当団体は小学生を対象とした食育スクールというイメージが強すぎて、子ども以外の世代を対象にした活動の認知度が低い。その結果、団体の活動について、必要な方が届けることができていないという課題がある。</p> <p>この課題を解決するため、主に次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報物の制作 ・専門家にコンサルを依頼し、活動の全体が分かる簡易冊子、活動内容が一目で分かるリーフレットを作成する。 	<p>「現状の課題分析については、説得力がある内容だったが、その課題のアプローチが、今の時代に、リーフレットの作成という手段で良いのかという点に疑問が残る。自己評価等の機会に、その点について、団体内で再度検討した方が良い。」</p> <p>「予算書で予算金額に比べ、リーフレットや冊子の作成予定部数が少ない。改めて見積もりを取り、作成予定部数の見直しを行った方が良い。」</p>	300,000円	300,000円	105.00
5	WE21ジャパンこうぼく	地域における環境保全の推進を図るとともに、アジア各地域の人々の生活向上と自立に寄与することおよび地域住民の環境、人権、平和、協力等に関する国際的な意識の自覚を図ることを目的としている団体。	<p>【支援地視察を通じた民際支援事業の意義成果確認及び組織体制強化】</p> <p>民際支援事業について、リーダー層を厚くすることが、組織の継続にとって必須であると感じている。そこで支援地訪問経験者を増やし、「支援に対する理解をより深め、支援地への理解を深めて民際支援事業のリーダー層を厚くしていくこと」、「複数人が支援地に関して情報共有できるようになることで、情報発信力を高めること」、「今後の事業の取り組み方についても考えるきっかけをつくること」ができるようにしたいと考えている。</p> <p>これらの課題を解決するため、主に次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援地への視察 ・フィリピン・ベンゲット州山岳地帯の先住民族が暮らす土地を訪問し、民際支援活動の成果を確認し、民際交流を行う。 ・視察報告書作成・報告会開催・会報視察特集号の発行 ・報告会は一般向けの報告会、法人ボランティアスタッフに向けた報告会、小規模な報告会の3種類を実施する。 	<p>「国際分野の活動では、現地に行くことは必要である。」</p> <p>「海外に視察に行き、報告会を開催するというだけでなく、人材育成の点から、将来的に、ある程度の人数が定期的に海外視察にいけるようになるための組織体制の構築を考えることも必要である。」</p> <p>「途上国支援の手法は、世間一般において年々変化している。このような現状も踏まえて、今後の団体が行う、途上国支援の内容や理念の届け方を考えていく必要がある。」</p>	300,000円	300,000円	105.00
6	夢輪	様々な支援を必要としている人々に対して、相互扶助の理念を基に、生涯学習事業や地域の交流事業などを通じて支援を行い、人々が自己を実現し心豊かに人生を送ることができる社会を構築することに寄与することを目的としている団体。	<p>【情報発信力強化プロジェクト】</p> <p>団体の赤字状況を改善するため、ホームページ、ニュースレター、他団体・個人とのコンタクトなどを見直し、講座参加者の増加、会費・寄附金収入増加につなげ、地域での活動を継続したいと考えている。</p> <p>主に次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの改良 ・対象者と発信情報を明確にし、ホームページを改良する。 ・ニュースレターの作成 <p>最近制作をしていなかったニュースレターを、主にホームページを見ることが少ない高齢者向けに制作・配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体を集めた発表会の開催 ・当団体の講座受講者や、地域で活動している団体の交流を深めるイベントを開催する。 	<p>「他の申請団体と比べ、申請書に記載されている計画内容が薄いと感じた。横浜市から派遣されるファシリテーターと一緒に自己評価を行い、団体の課題や課題に対するアプローチを考える必要がある。」</p> <p>「ニュースレターを作成するだけでなく、作成のノウハウを団体に蓄積していくことも考えていくべきである。」</p> <p>「発表会の開催について、参加する地域の団体側の目線に立ち、開催の可否や実施内容を考えた方が良い。例えば、地域の団体に対する謝金が予算に含まれていない点を検討すべきである。」</p>	300,000円	300,000円	93.75

	団体名	団体概要等	取組名・取組内容等	審査の際のコメント	申請金額	交付金額	点数 (基準点:90)
7	かながわ311ネットワーク	自然災害発生時の被災者に対し、復興支援に関する事業を行い、被災者の生活再建並びに被災地の経済復興に寄与するとともに、緊急時には積極的な支援活動を行う。また、災害支援活動に携わる関係者、事業者に対し、平常時から市民参加による災害に強いまちづくりの推進や災害時の情報活用などに関する事業を行い、災害による被害の軽減を目指し市民が助け合い、お互いに支えあう安心・安全な社会の構築に寄与することを目的としている団体。	<p>【団体活動発展のための協力者獲得に向けた広報資料制作プロジェクト】</p> <p>これまでの活動を経て、神奈川の防災体制への寄与を当団体の今後の最大のミッションと考え、横浜での災害に備えるために、横浜市内においてもっと多くの、災害時に当団体と連携して動いてくれる協力者が必要であることが分かってきた。これらの課題を解決するため、主に次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者獲得戦略の構築 ・横浜市区の防災体制の課題分析やスキーム調査を行い、当団体の既存のスキームの修正・整理を行う ・協力者獲得に向けた広報資料の制作 ・自治会・管理組合等を通じた地域住民へ配布する広報資料を作成する。 ・広報資料の活用 <p>制作した広報資料を活用し、行政・社会福祉協議会への趣旨を説明する。また、自治会、学校、マンション自治会への趣旨説明や研修会、養成講座を行う。</p>	「認定NPO法人となったほどの高い組織力を生かして、地域社会に根付いた活動になるように基盤強化に取り組んでほしい。自治会や管理組合といった団体にアプローチすること、さらには申請書に書いているように『自治会・管理組合等を通じた地域住民への広報活動』などは、よほど地域側との信頼関係が築かれなければ難しいと思われるので、組織基盤強化を通じて関係構築に努力してほしい。」	300,000円	300,000円	100.00
8	横浜にプレイパークを創ろうネットワーク	横浜市民に対して、子ども達が自由に思いきり遊べる遊び場＝プレイパーク創りを推進すると共に、遊びの大切さを多くの人にアピールする事業を行い、横浜にプレイパーク活動がしっかりと根付いていくことを目的としている団体。	<p>【プレイパークって何だろう？誰でも知ってる場にする支援拡大プロジェクト】</p> <p>当団体がNPO法人化された当初は、9団体だった加盟団体が、現在24団体にまで増え、団体の中間支援的役割の必要性が高まってきている。そのようななかで、プレイパークは常連の地域周辺の利用者が多いが、近年では情報ツールを活用して来園する層も増えてきた。しかし、ニーズに対応した、見やすく、活力を感じる情報発信力が団体には不足している。これらの課題を解決するため、主に次の取組を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPの改善、リーフレットの制作 <p>HPの改善、リーフレットの制作を通して、法人が果たすべき役割を再認識し、ビジョンの共有をしていく。HPやリーフレットを利用し、会員獲得、受託事業、プレイリーダーの就労希望者の獲得を行う。</p>	<p>「団体の課題に向けてのアプローチが、リーフレットやHPを作成することであるが、本当に効果的なのか不明瞭である。広報について、漫然と考えるのではなく、どこに伝えることが大事なのかを具体的に考え、広報を見た人が『面白そう、自分も協力したい』と思えるものにしないと、リーフレットやHPが単なる情報提供のものにとどまってしまう、団体の課題解決につながらない。」</p> <p>「現在、団体関わっているプレイパークは24か所あるが、それぞれの地域によっても広報のターゲットは異なるのではないかと。そういったことをきめ細かく考えていく必要がある。」</p>	300,000円	300,000円	103.75
					2,400,000円	2,400,000円	

●基準点数について
評価点の満点(30点×5人=150点)の6割の90点を基準点とします。

●欠席した委員がいる場合等の合計点の算出方法について
欠席した委員もしくは団体関係者等の理由により審査に加わらない委員がいる場合は、審査に加わった委員の平均点を算出したうえ、その平均点を5倍にして合計点を算出しています。